

ケルン大学における Cologne Global Study Program に関して

社会国際学群 国際総合学類

酒本 将幸

このコースはヨーロッパの学生以外が参加することを目的として作られており、主に中国、韓国、日本、メキシコ、アメリカ、ロシアの学生などが参加しています。

授業構成としては、基本となる **basic module**、**German course**、**Elective course** となっており、これらを合わせて一学期あたり **30 credit point** を履修することで、プログラムの修了証書をもらうことができる予定です。

これを達成するために、**basic module** の授業を 3 つ、**elective course** の授業を 3 つ、ドイツ語の授業が必要になります。というのも、授業一つあたりで **3CP**、ドイツ語はコマ数が多いので **9CP** を、履修要件を満たすことで獲得できるからです。

つまりまとめると、

Basic module の授業 3 つを合わせることで **9CP**、**Elective module** の授業で **9CP**、ドイツ語の授業で **9CP**、これに加えて **Basic module** の選択式の期末試験が **3CP** なので、これらを合わせることで **30CP** を達成することができます。

ただ、これは必ずしも学期中にとらなければならない授業ではありません。なぜなら、学期が始まる前に行われるプレセメスターでの 5 週間のドイツ語の授業を履修することで、それを学期中のドイツ語の授業と置き換えることができるからです。更にこの場合、学期中のドイツ語を上記の **elective module** としてとることが可能となります。ですので、学期中に履修しなければならない授業を **basic module** が 3 つとドイツ語のみにすることができます。そうすることで、授業の時間を大幅に削ることができ、旅行などにあてられます。

履修可能な授業に関しては、細かい内容はシラバスを見ていただいたほうがわかりやすいので省略しますが、まずプログラム内の授業はもちろんすべて英語で行われ、基本的に **basic module** では、ヨーロッパに関する権利、歴史、政治、法、言語、経済の授業を履修することができます。

これに加えて、**elective module** では上記に加えて、教育などの授業が行われています。また、このプログラムに参加したからといって、必ずしも学部の授業をとれないわけではなく、自分が交換留学する学部の授業であれば問題なく履修できるはずで、さらにほかの学部の授業（ドイツ語で行われているもの）でも定員超過などでなければとれるとおもいます。ただこれは授業や教授にもよると思うので、絶対ではありません。

以上が大まかな **Cologne Global Study Program** の概要になります。

参考になれば幸いです。